

【別表3】実験エリアの要求水準

エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1)廊下側出入り口					2)サービスヤード側出入り口				3)採光窓					4)遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																			
d	B3	1	集中監視室	65	1	○									○		○		腰窓ガラス透明				
d	B3	2	共同利用者室	60	1	○											○						
d	B3	3	保管室	37	1	○							○				○		防火戸				
d	B3	4	ヘリウム回収室	26	1		○						○				○						
d	B3	5	計測準備室	106	1	○							○				○						
d	B3	6	X線計測室	68	1	○							○				○						
d	B3	11	汚染検査室	51	1	○							○				○		一般エリア廊下側は防火戸、中扉は片開きW800防火自動戸(透明ガラス)、管理区域側は片開W800(透明ガラス)、放射線区域側は片開自動W800(透明ガラス)				
d	B3	12	貯蔵室	29	1		○						○				○		防火戸				
d	B3	13	廃棄物保管室	49	1		○						○				○		防火戸				
d	B3	14	排水処理室	78	1		○						○				○						
d	B3	15	排水貯留室	39	1		○						○				○						
d	B3	16	排気機械室	194	1								○				○		フェンス扉、両開き				

エリア(室名)				建築関係																その他		
				一般事項		1)廊下側出入り口					2)サービスヤード側出入り口			3)採光窓					4)遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1	
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																		
d	B3	17	機械室	194	1				○									○		廊下側扉はサービスヤード側でもよい		
d	B3	18	測定室	51	1	○												○				
d	B3	21	重同位体実験室	48	1									○				○		扉窓透明		
d	B3	22	同位体実験室	51	1									○				○		扉窓透明		
d	B3	23	中性子実験室	45	1									○				○		扉(SD)窓透明		
d	B3	24	線源物理実験室	51	1									○				○		W2000必要 扉(SD)窓透明		
d	B3	25	微量放射能測定室	51	1									○				○		扉窓透明		
d	B3	26	同位体実習室	51	1									○				○		扉窓透明		
d	B3	27	検出器開発室	91	1									○				○		扉窓透明、扉2箇所		
d	B3	31	分子標識実験室	72	1									○				○		扉窓透明		
d	B3	32	低温室	16	1		○							○				○		W800 片開き扉		
d	B3	33	細胞培養室	41	1	○								○				○				
d	B3	34	暗室	10	1		○							○					○	W800 片引き扉		

エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1)廊下側出入り口					2)サービスヤード側出入り口				3)採光窓					4)遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																			
d	B3	35	生物化学実験室	64	1	○					○						○		扉窓透明				
d	B3	36	動物実験室	39	1	○						○					○		スライド式ドアw1200 およびネズミ返し用専用レール付き内扉(動物逃避防止のため)				
d	B3	37	濃度分析室	67	1						○						○		扉 2箇所 扉窓透明				
d	B3	38	生物化学試料調製室	65	1						○						○		扉窓透明				
d	B3	41	メスバウア実験室1	18	1		○					○					○		W800 鉛2mm しゃへい片開き扉(SD)				
d	B3	42	メスバウア実験室2	42	1	○						○					○						
d	B3	43	非密封陽電子実験室	39	1	○						○					○						
d	B3	44	陽電子実験室	130	1	○					○						○		部屋がサービスヤードに面していない場合は、SD0の代わりに廊下側にRD3の扉を設けること				
d	B3	51	ボンベ庫	39	1						○						○						
d	B3	52	材料工学共通実験室(1)	136	1	○						○					○						
d	B3	53	材料工学共通実験室(2)	101	1	○						○					○						

エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1) 廊下側出入口					2) サービスヤード側出入口				3) 採光窓					4) 遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																			
a	B2	1-1	環境熱流体工学分野、熱材料力学分野、流体物理学分野共同実験室	428	1						特殊								特殊	通路からの出入口は両開き(W2000×H2100)、窓なし。ドライエリアとの出入口は両開き(W2000×H2100)、窓なし、断熱性能確保、床段差なしのもの。サービスヤード側出入口は両開き扉(W4000×H4000程度)、小扉あり、断熱性能確保、床段差のないもの。採光窓は電動で完全遮光できるシャッターつき。			
a	B2	1-2		52	1						特殊								○	サービスヤード側出入口は両開き扉(W3000×H3000)、小扉あり、断熱性能確保、床段差のないもの。1-1室との出入り用の扉も同じ仕様。採光窓は1-1室との間の腰窓(固定ガラス完全に透明)とする。			
a	B2	1-3		52	1						特殊								○	サービスヤード側出入口は両開き扉(W3000×H3000)、小扉あり、断熱性能確保、床段差のないもの。1-1室との出入り用の扉も同じ仕様。採光窓は1-1室との間の腰窓(固定ガラス完全に透明)とする。			
a	B2	1-4		52	1						特殊								○	サービスヤード側出入口は両開き扉(W3000×H3000)、小扉あり、断熱性能確保、床段差のないもの。1-1室との出入り用の扉も同じ仕様。採光窓は1-1室との間の腰窓(固定ガラス完全に透明)とする。			
a	B2	2	客員実験室2	117	1					○									○				
b	B2	1	ナノ物性工学実験室	169	1		○			○									○	西側の壁にもサービスヤードと同じ扉を付ける			
b	B2	2-1	光工学分野実験室A	48	1					○									○	A-B間の扉(RD0)			
b	B2	2-2	光工学分野実験室B	40															○	B-C間の扉(RD0)			
b	B2	2-3	光工学分野実験室C	56															○				

エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1) 廊下側出入口					2) サービスヤード側出入口				3) 採光窓					4) 遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																			
b	B2	3	熱物理工学分野実験室2	82	1					○	○							○					
b	B2	4	熱物理工学分野実験室1	43	1					○								○		該当なし			
b	B2	5	熱工学分野実験室	125	1					○	○							○					
b	B2	8	医療工学分野実験室	130	1					○								○					
b	B2	9-1	バイオメカニクス実験室1	130	1	○				○								○		サービスヤード側、埃の入りにくい構造 実験室1と実験室2の間には、親子扉(標準)を設置する。			
b	B2	9-2	バイオメカニクス実験室2	43	1	○				○								○		サービスヤード側、埃の入りにくい構造			
b	B2	10	レンタル	43	1	○																	
b	B2	11	化学処理室2	43	1	○				○								○		化学処理室はサービスヤード出入口、採光窓なし?			
b	B2	12-1	材料系共通実験室1	101	1	○				○										実験室1と実験室2の間には扉(廊下出入口の標準仕様と同じもの)を設置する。また、その扉の窓には遮光カーテンorブラインドを設置する。 廊下側扉は電子錠とする。			
b	B2	12-2	材料系共通実験室2	29	1	○												○		実験室1と実験室2の間には扉(廊下出入口の標準仕様と同じもの)を設置する。また、その扉の窓には遮光カーテンorブラインドを設置する。 廊下側扉は電子錠とする。			
b	B2	13-1	材料物性学分野実験室1	50	1		○											○		実験室1と実験室2の間には扉(廊下側出入口の標準仕様のもの)を設置する。また、その扉の窓には遮光カーテンorブラインドを設置する。 実験室2と実験室3の間には扉(廊下側出入口のRD0仕様のもの)を設置する。			

エリア(室名)				建築関係													その他				
				一般事項		1) 廊下側出入口					2) サービスヤード側出入口			3) 採光窓				4) 遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																	
b	B2	13-2	材料物性学分野実験室2	68	1														実験室1と実験室2の間には扉(廊下側出入口の標準仕様のもの)を設置する。また、その扉の窓には遮光カーテンorブラインドを設置する。実験室2と実験室3の間には扉(廊下側出入口のRDO仕様のもの)を設置する。		
b	B2	13-3	材料物性学分野実験室3	11	1					○			○				○		実験室1と実験室2の間には扉(廊下側出入口の標準仕様のもの)を設置する。また、その扉の窓には遮光カーテンorブラインドを設置する。実験室2と実験室3の間には扉(廊下側出入口のRDO仕様のもの)を設置する。		
b	B2	14	適応材料力学分野実験室B	54	1		○	○					○						完全遮光(窓不要)		
b	B2	15-1	適応材料力学分野実験室A-1	40	1								○						部屋番号14(B室)と15-1(A-2室)の間の出入口(扉に安全確認用の窓を設置)壁側に窓不要		
b	B2	15-2	適応材料力学分野実験室A-2	36	1					○			○						完全遮光(窓不要)		
b	B2	16-1	固体力学分野精密測定室	47	1			○									○		別表1-2に示す通り、窓と出入口は防音仕様とする。		
b	B2	16-2	固体力学分野実験室	83	1	○				○			○		○		○		サービスヤード側の採光窓については、固定のハイサイド窓に加えて開閉のできる腰窓をもうけて、室内作業者の健康に配慮する。		
b	B2	17	機械機能要素工学分野実験室	151	1												○		サービスヤード側出入口は、W5000×H5000とする。		
b	B2	18	振動工学分野実験室	151	1	○				○							○				
b	B2	19	精密計測加工学分野実験室	151	1	○				○									機械搬入のためサービスヤード側搬入扉(H4,000mm×W4,000mm)を希望。南側に作ることが建物構造上難しければ、東側に搬入扉作ること可能か?その場合、南側扉は標準扉。搬入扉は電動シャッター、シャッター内側に断熱材(あるいはダブルシャッター)。廊下側出入口はW2000×H2500程度の(親子)が望ましいが、無ければ親子扉W1250×H2100、スリット窓(防犯ガラス ハイランド)、床段差のないタイプも可		

エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1) 廊下側出入口					2) サービスヤード側出入口				3) 採光窓					4) 遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																			
c	B2	1	先端イメージング工学分野研究室	125	1	○													○				
c	B2	3-1	機械系共通クリーンルーム1	102	1		○		○	○									○		RD0, RD2は片開き. RD0は廊下へ, RD2, RD3はB1-3-2へ2), 3)なし		
c	B2	3-2	機械系共通クリーンルーム2	134	1		○		○	○									○		RD0, RD2は片開き. RD0のうち1枚は廊下へ, 1枚はB1-4へ, RD2, RD3はB1-3-1へ, RD3(2枚目: サービスヤード側扉SD0と同等)はB1-4へ, B1-4とB1-6の間にエアシャワー, 2), 4)なし		
c	B2	4	クリーンルーム機械室	70	1				○	○									○		RD2(3枚)は片開きOK, それぞれ仕切り間, B1-5, B1-3-2へ, RD3はB1-3-2へ, B1-3-2との間にエアシャワー		
c	B2	5	化学処理室1	76	1		○		○										○		RD0, RD2は片開き,		
c	B2	6	クリーンルーム前室	56	1	○													○		廊下扉標準2枚, 1枚は廊下, 1枚は片開きで部屋内の小部屋(更衣室)用, B1-3-2との間にエアシャワー, 2), 3)なし		
c	B2	7-1	構造材料強度工学分野実験室	136	1	○													○				
c	B2	7-2	構造材料強度工学分野精密計測室	52	1	○						○							○		サービスヤードに面していない部屋		
c	B2	8-1	航空宇宙力学実験室(1)	125	1							○	○						○		サービスヤード側出入口は可能な限り大きな両開き, 個扉あり, 断熱性確保, 遮音性の高いもの(W3000××~H6000) 8-1, 8-2, 8-3の間には各々両開きで遮音性の高いW2000×H3000程度の扉		
c	B2	8-2	航空宇宙力学実験室(2)	31	1			○		○									○		廊下側出入口は可能な限り大きな両開きで遮音性の高いもの(W2000××H3000) 8-1, 8-2, 8-3の間には各々両開きで遮音性の高いW2000×H3000程度の扉		
c	B2	8-3	航空宇宙力学実験室(3)	94	1			○		○									○		廊下側出入口は可能な限り大きな両開きで遮音性の高いもの(W2000××H3000) 8-1, 8-2, 8-3の間には各々両開きで遮音性の高いW2000×H3000程度の扉		

エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1) 廊下側出入口					2) サービスヤード側出入口				3) 採光窓					4) 遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																			
c	B2	10	顕微鏡室	130	1		○				○							○					
c	B2	11	ナノマイクロシステム工学分野実験室	130	1	○					○							○	サービスヤード側出入口扉はW2,100×H2,100程度。扉上側に採光窓設置。暗室スペース内の採光窓なし。				
c	B2	12	ナノメトリクス工学分野実験室	130	1					○	○							○					
c	B2	13	レンタル	65	1	○					○							○					
c	B2	14	マイクロ加工システム工学分野実験室	130	1	○					○							○	サービスヤード側出入口扉はW2,100×H2,100程度。扉上側に採光窓設置。暗室スペース内の採光窓なし。				
c	B2	15	推進工学分野実験室	259	1	○					○							○	・ドラフトチャンバーは、ヤマト科学CYV2-180V。 ・スクラパーは、ヤマト科学CRW3-19。 ・実験流し台はヤマト科学LSA-187。				
c	B2	16	分子流体力学分野実験室	130	1					○	○							○					
c	B2	17	流体力学分野実験室	130	1					○	○							○	採光窓不要				
c	B2	18	流体数理学分野実験室	130	1	○					○							○					
c	B2	19	制御工学分野実験室	130	1	○					○							○					
d	B2	1	共通実験室2	32	1					*	○							○	* 廊下に接していないので、廊下側入り口は無いが、物理化学実験室3への出入口は標準仕様、共通実験室1は片扉とする。遮光カーテンをつけること。				
d	B2	2	共通実験室1	32	1					*	*							○	* 廊下からの出入はできない。物理化学実験室1の間は親子扉、物理化学実験室2、共通実験室2の間は片扉、サービスヤードへは両扉(1800)である。要求水準書および参考図を参照のこと。				



エリア(室名)				建築関係																その他			
				一般事項		1)廊下側出入り口					2)サービスヤード側出入り口				3)採光窓					4)遮光			備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0	B1		
棟	階	番号	㎡	室																			
d	B2	3	物理化学実験室3	43	1					*	○ (備考参照)							○		*廊下に接していないので、廊下側の出入口は無いが、共通実験室2および物理化学実験準備室への出入り口は標準仕様とする。採光窓は透明耐火ガラスとし、遮光カーテンを設置すること。			
d	B2	4	物理化学実験室2	50	1					*								○	○	*廊下からの出入はできない。物理化学実験準備室への出入り口は標準仕様、共通実験室1の間は片扉とする。要求水準書および参考図を参照のこと。なお、採光窓は透明ガラスとする。			
d	B2	5-1	物理化学実験室1	44	1					*								○	○	*廊下からの出入はできない。物理化学実験準備室への出入り口は標準仕様、共通実験室1の間は親子扉とする。要求水準書および参考図を参照のこと。なお、採光窓は透明ガラスとする。			
d	B2	5-2	薬品室	6	1		○			*										*廊下からの出入はできない。物理化学実験準備室への出入り口は片扉とする。要求水準書および参考図を参照のこと。			
d	B2	6	物理化学実験準備室	99	1					○									○	*西側建物外への搬出入は片扉1箇所とする。			
d	B2	7	クリーンルーム前室	35	1	○													○				
d	B2	8	クリーンルーム機械室	25	1					○													
d	B2	9	クリーンルーム	63	1															廊下からの出入はできない。要求水準書および参考図を参照のこと。			
d	B2	10-1	機械工作室	381	1	○				○									○	機械工作室と控室の間にも扉を設置。			
d	B2	10-2	機械工作室控室	50	1	○										なし			備考	○	機械工作室との間に透明ガラス窓を設置。		



エリア(室名)				建築関係														その他		
				一般事項		1) 廊下側出入り口					2) サービスヤード側出入り口			3) 採光窓				4) 遮光		備考
				面積	室数	標準	RD0	RD1	RD2	RD3	標準	SD0	SD1	標準	M0	M1	M2	M3	標準	B0
棟	階	番号	m <sup>2</sup>	室																

【建築関連 共通確認事項】

- 1) 廊下側出入り口  
 標準 : 親子扉W1250×H2100、スリット窓(透明ガラス)、床段差のないタイプ  
 RD0 : 特に窓を設けないようにする。  
 RD1 : 遮音性能重視の場合、床に段差あり  
 RD2 : 大開口のガラス窓が必要な場合、框扉(四周枠)  
 RD3 : 両開き(W1800×H2100)
  
- 2) サービスヤード側出入り口  
 標準 : 両開き扉(W3000×H4000程度)、小扉あり、断熱性能確保、床段差のないタイプ  
 SD0 : 両開き扉(W3000×H4000程度)、小扉なし、断熱性能確保、床段差のないタイプ  
 SD1 : シャッター(W3000×H4000程度)
  
- 3) 採光窓  
 標準 : ハイサイド窓(開閉ありガラス半透明)  
 M0 : 不要  
 M1 : ハイサイド窓(固定ガラス半透明)  
 M2 : 腰窓(固定ガラス半透明)  
 M3 : 腰窓(開閉ありガラス半透明)
  
- 4) 遮光  
 標準 : 通常(ブラインドあるいはカーテン程度)  
 B0 : 不要  
 B1 : 完全遮光(暗幕タイプ)